

平成28年度事業報告書

社会福祉法人 名古屋市中村区社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

住民主体での地域福祉をより一層進めるためには、本会の活動が多くの方の区民の理解を得ること、区内の関係機関、市民活動団体、社会福祉施設と協働し、活きたネットワークを構築することが必要です。

それに向け、平成28年度は、次の事業に取り組みました。

1 地域福祉活動の推進

(1) 第3次地域福祉活動計画を推進するにあたり、事業の進捗状況の全体的な確認を行う「活動推進フォローアップ会議」と、活動計画の実施項目毎に設置し、事業の進め方を具体的に検討する「グループ会議」を定期的に開催しました。

また、活動計画を進める実働部隊で組織した「福祉学習サポーター部会」、「サロン部会」、「はつらつサポーター部会」の3部会では、地域課題解決に向けた具体的な検討と活動における意見交換を行いました。

さらに、みんなでできるユニバーサルスポーツ「ボッチャ」の普及に向け、ボランティアやサロン運営者で「中村区スポーツひろめ隊」を結成し、地域のサロンや高齢者はつらつ長寿推進事業の実施会場で活動を開始しました。

そのほか、同朋大学と連携して「オレンジカレッジ」を開催し、社会福祉学部の新入生を対象に、「社協について」の講話を行うとともに、ゼミ別にテーマを設けたフィールドワークを実施し、本会事業のPRと、若い世代の福祉の担い手発掘に取り組みました。

(2) 住民主体の地域福祉活動の中核である地域福祉推進協議会（推進協）事業及び推進協が実施する高齢者ふれあい給食サービス事業の支援を行いました。

また、名古屋市社会福祉協議会（市社協）が本年度から新設した「つながり応援事業」の説明・周知を全学区推進協に行い、ふれあいネットワーク活動（住民が連携したゆるやかな見守り）及びサロン活動（地域住民の交流の場・たまり場づくり）の一体的促進に努め、誰もが安心して生活できる地域づくりに取り組みました。

(3) 「高齢者等サロン整備等推進事業」を名古屋市から受託し、地域の孤立しがちな高齢者等が集うことができる「ふれあい・いきいきサロン」の開設費用やその運営費の助成を行うとともに、サロン活動を実践するキーパーソンの育成として、社会福祉施設職員を対象にサロン担い手養成講座を開催しました。

また、地域のサロン（たまり場）の拡充を目指した「サロン部会」を定期的に開催するとともに、「サロン何でも相談所」としてサロン新設希望者への情報提供・支援及び既存のサロン運営者のスキルアップや情報交換の場づくりを行いました。

さらに、生活支援の充実を図るため、中村区生活支援連絡会（生活支援・介護予防部会）の事務局として、生活支援や介護予防に関する課題把握と取り組みの検討を行う会議を年4回開催しました。

そのほか、本会が開設・運営する共生型ふれあいサロン「なも・なも」、子育て

サロン「すくすくひろば」を毎月開催しました。

- (4) 「地域支えあい事業」では、実施4学区（豊臣・日吉・八社・則武）における地域住民の見守り活動やちょっとした困りごとの助け合いの輪が、より一層広がるよう支援しました。

また、新規実施希望学区に対し事業説明を行うなど、実施学区拡大に向けた準備に着手しました。

- (5) 65歳以上の高齢者を対象に、健康増進活動やレクリエーション活動等を通じて介護予防、認知症予防、自立生活の支援、社会参加の機会を提供することを目的とした「高齢者はつらつ長寿推進事業（通称：いきいきクラブ）」を名古屋市から受託し、区内8か所で実施しました。

また、本事業を支えるボランティア「はつらつサポーター」が意欲的に取り組めるよう、はつらつサポーター部会を定期的で開催し、サポーター同士の交流や本事業のプログラム検討を行いました。

さらに、本事業参加者によるボランティアグループ「NHB」が取り組む「あみものカフェ」等の運営支援や、男性の閉じこもり防止を目的として立ち上がった男性限定の体操サロン「はつらつ道場」の運営に協力しました。

そのほか、参加者の自主活動促進や事業のPRを目的として「はつらつまつり」を開催しました。会場では、参加者の作品を展示したほか、認知症に関する講話、NPO法人オレンジの会によるパン販売喫茶コーナーなどの様々な企画により約170人の方に参加いただきました。

- (6) 区内の社会福祉施設やボランティア団体と連携し、小学生とその保護者という若い世代を対象に、福祉への理解を深め、地域活動への参加を目的とする「なかむらふくしツアー」を実施しました。

協力施設の利用者との交流企画では、高齢の方、障がいのある方と楽しく交流でき、参加した子どもや保護者と福祉施設との関係が深いものになりました。

また、講師に地元在住の大学生を招くなど、幅広い年齢層に福祉の担い手としての意識を高めることができ、新たな人材の発掘につながりました。

そのほか、「福祉セミナー」として、ボッチャ大会を実施しました。子どもから高齢者まで様々な年代が参加し、地域ぐるみで福祉の輪が広がるきっかけとなりました。

- (7) 団塊の世代を中心とした男性の閉じこもり防止を目的に「キラ☆キラおやじ養成講座V」を実施しました。

「日曜大工」「健康」「調理」「音楽」など、様々なテーマを設けた全5回講座のうち、最終回はおやじメンバーによる企画・運営として実施し、メンバーの主体的な参画や自主化に向けたイメージづくりを行いました。

また、過年度からの継続参加者によって結成された「キラおや同窓会」では、参加者同士の交流会の中で、男性ならではの特技を活かした地域活動への第一歩として、サンタクロースに扮して地域の子育てサロン等を訪問する「おやじサン

タクラブ」が発足しました。

- (8) 在宅サービスセンター内の研修室、調理実習室を、福祉目的の事業活動団体等に貸出するとともに、ボランティアルーム、録音室についても、ボランティア団体の活動に利用していただきました。
- (9) 広報紙「なかむら福祉だより」を年2回、70歳前後の高齢者世代向け情報誌「セブンティ Neo」を年1回発行しました。
また、本会ホームページを随時更新し、本会事業及び活動の周知や各種情報の提供に努めました。
- (10) 区内の社会福祉施設に呼びかけ、サロン活動を通じた社会貢献活動について考える機会を提供しました。
- (11) 寄附金、賛助会費については、本年度も様々な機会を捉えて、住民に趣旨説明・協力依頼を行い、多くの個人、法人、団体から協力を得ました。
- (12) 生活福祉資金貸付に至らなかった生活困窮の方のつなぎ支援として、NPO法人セカンドハーベスト名古屋と連携し、食料支援を行いました。

2 ボランティア活動の振興

- (1) ボランティアの活動希望者と住民のニーズを把握し、両者に対するボランティア活動の情報提供や需給調整を行いました。
また、公所及び区内団体からの依頼により、ボランティアに関する講座の講師、講演等を行いました。
さらに、昨年度に引き続き、「ぼらマッチ！なごや in 愛知大学」におけるボランティア相談コーナーへ協力し、ボランティア活動への橋渡しを行いました。
- (2) 平成27年度に実施した院内ご案内ボランティア養成講座の受講生を対象に、フォローアップ講座を実施し、地域包括ケアシステムにおける住民ボランティアの意義について改めて学ぶ機会としました。
また、いきいき支援センター、名古屋セントラル病院と共にボランティアの実践活動から見えた課題などについて、情報共有と意見交換を行いました。
- (3) ひとり暮らし高齢者等の孤独感の解消等を目的として実施されている「ふれあい給食サービス事業」に従事するボランティアに対し、食品衛生研修会を開催しました。
- (4) 区内の小・中学校や企業などで、車いす体験、アイマスク体験、盲導犬体験、手話体験などの福祉体験学習を実施し、受講者にみんなで作る福祉のまちづくりについての理解を進めるとともに、福祉学習サポーター部会を毎月開催し、福祉体験のプログラムの検討や振返りを行いました。
また、区内の小中学校に呼びかけ、福祉教育について考える連絡会を開催しま

した。

そのほか、市社協が実施する「福祉学習サポーターフォローアップ研修」において、サポーターとともに登壇し、「地域をつなぐ福祉教育」をテーマに事例発表を行い、サポーターの資質向上に努めました。

- (5) 「中村区ボランティア連絡協議会」の事務局として、広報紙の発行や区民まつりへの参加等を通して、ボランティアに関する情報提供と理解促進を図りました。
また、ボランティア連絡協議会が主催するスキルアップ講座の開催支援を行い、第3次地域福祉活動計画の取り組みの中で普及を進めているユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を取り上げました。
- (6) 災害時に備え、なごや中村災害ボランティアネットワークと連携し、同朋大学連携事業「オレンジカレッジ」において避難所運営ゲームHUGを実施したほか、区内各種団体からの依頼による防災減災講座の実施支援により、地域における防災活動を推進しました。
また、障がい者団体や名古屋国際センターとともに、災害ボランティアセンター立上訓練を実施し、大規模災害発生時の対応について考えました。
- (7) 地域包括ケア推進会議認知症専門部会と連携を図りながら、寸劇を通じて認知症に対する啓発を図る「めいらく寸劇グループ」の支援を行いました。
- (8) 地域福祉活動の活性化及び共同募金運動への理解拡大を目的に、ボランティア団体やNPO法人に対して、公開プレゼンテーションによる「地域福祉活動応援助成事業」を実施しました。

3 各種福祉事業

- (1) 学区の敬老行事、手をつなぐ育成会クリスマス会、子ども会ドッジボール大会など、地域団体等が実施する各種事業や、地域福祉活動を行う小中学校へ助成等の支援を行いました。
- (2) 低所得世帯、障がい者世帯等を対象として、愛知県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を受託し、相談・貸付を行いました。
- (3) 70歳以上の高齢者ひとり暮らし世帯・夫婦世帯、障がい者世帯を対象に「寝具クリーニングサービス事業」を実施しました。
- (4) 障がい者等の社会参加を促進するため、車いす対応車両「かがやき号」の貸出や、車いすの貸出を行いました。

4 介護保険事業等の取り組み

- (1) 通所介護事業を実施し、昨年度を上回る利用をいただきました。
実施にあたっては、夏まつり、クリスマス会、同朋大学体験ツアーなどの行事のほか、様々なボランティアによるレクリエーションやフラワーアレンジメント、

絵手紙、陶芸などの多くのプログラムを用意し、できる限りお客様の個別ニーズに応える取り組みを行いました。

- (2) 市社協「中村区介護保険事業所」が実施するなごやかヘルプ事業（介護保険の訪問介護事業、介護予防訪問介護事業、障害者総合支援法における居宅介護事業等）とケアプランの作成等を行う居宅介護支援事業の運営に協力しました。
- (3) 高齢者が住み慣れた地域で安心・安全な生活ができるように、総合相談支援、介護予防ケアマネジメント等の援助を、関係機関との連携のもと包括的に提供する市社協の事業所「中村区北部いきいき支援センター」の運営に協力しました。

5 名楽福祉会館の管理・運営

名古屋市から指定管理者として受託管理を行っている「名楽福祉会館」では、高齢者の生きがい支援、健康増進、仲間づくり等を目的に、次の事業を実施しました。

(1) 教養・趣味講座の開催

体操やコーラスなど高齢者に人気のある18講座を開催しました。人気の高い体操講座については、多くの高齢者に参加していただくため、体力に合わせて3種類の講座を前期、後期に分けて実施しました。

また、講座作品展や発表会、演芸大会等の事業・行事を多数実施し、利用者のニーズに応えました。

(2) ちょっと来て講座（ミニ講座）の実施

気軽に参加していただくため、体操編、音楽編、手芸編、趣味編など、高齢者の興味を引くテーマで、ちょっときて講座（ミニ講座）を実施し、好評を得ました。

特に、介護予防に効果的な体操編については、一年間に複数回実施しましたが、毎回定員を超える応募があり、新規利用者の増加につながりました。

(3) サロンの開催

福祉会館に気軽に立ち寄っていただく機会を作ることを目的に、脳トレサロン、折り紙サロンを開設しました。

また、折り紙サロンでは、折り紙が得意な方がボランティアとして指導していただくなど、高齢者のボランティア活動の推進も行いました。

(4) 健康相談、生活相談の実施

中村区医師会の協力を得て、毎月第2・4木曜日の午後、健康相談を実施しました。

また、職員が日常的に高齢者の相談に応じ、必要に応じて関係機関につなげて問題解決を図りました。

(5) 同好会への活動場所の提供

高齢者が自主的に活動する同好会に対し、活動場所として部屋の提供を行い

ました。今年度は36団体、延べ976回の利用がありました。

(6) 気軽に来館できる雰囲気づくり

囲碁・将棋室、卓球室、浴室を自由に使っていただき、棋力、体力の向上や仲間づくりに貢献しました。

(7) 福社会館認知症予防事業の実施

今年度から名古屋市の受託事業として、認知症予防に役立つ知識や運動について学ぶ認知症予防教室を開催しました。

また、認知症予防の普及啓発を行う認知症予防リーダー養成講座を実施するとともに、養成したリーダーが地域で活動できるように活動先の開拓や調整などの支援を行いました。

そのほか、認知症予防教室を落選した方を対象に、認知症予防同好会を開設し、認知症予防に対する学習意欲の維持に努めました。

(8) 世代間交流事業の実施

幼児・児童と高齢者との交流を目的に、「敬老の日」の時期に合わせた保育園との交流会や中村児童館と連携した箏・フラダンス合同発表会、将棋交流会を行ったほか、児童館が実施する移動児童館の会場として和室を提供しました。

6 中村児童館の管理・運営

名古屋市から指定管理者として受託管理を行っている「中村児童館」では、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、次の事業を実施しました。

(1) ひろばの実施

年齢や発達に応じた「うんどうひろば」「おはなしひろば」「たいそうひろば」などの自由参加の事業を実施し、「子どもの遊びの場」「保護者の交流の場」を提供しました。

(2) クラブの実施

「親子リズム体操」「美術教室」「卓球教室」など、8つの講座を設け、幼児から高校生までを対象に、文化やスポーツ等を体験することで、趣味の充実と情操の育成に取り組みました。

(3) ホットステーション Nakamura の実施

毎週金曜日の夜間に中高生の健全な居場所を提供するため、児童館を開放するとともに、専任のサポートスタッフの配置により、見守りや相談対応等に努めました。

(4) 季節の行事の実施

季節に応じたイベントを企画し、小学生から高校生までを対象に、プレゼン

ト作り、伝承あそび、クリスマス会等を実施しました。

(5) 子ども主体の行事の実施

利用者による実行委員会を組織し、利用者の自主的な取り組みとして「夏まつり」を実施し、その支援を行いました。

また、子ども会育成連絡協議会、児童館ボランティア、児童館の3団体の合同事業として、子どもが町を運営する「こどものくに」事業に取り組みました。

(6) 移動児童館の実施

区内の各地域へ出向く児童館事業を年19回開催し、より多くの子どもたち及び保護者が児童館を利用できるようにしました。

(7) 中学生の学習支援事業

昨年度からの「名古屋市ひとり親家庭学習サポートモデル事業」を引き継ぎ、今年度からは本格実施として12名の中学生を対象に52回の学習会を行いました。

(8) 不登校児への対応事業

不登校児やその家族を支援するNPO法人と共催で不登校フォーラム及び不登校相談会を実施しました。

7 その他

中村区共同募金委員会（愛知県共同募金会名古屋市中村区支会）が実施している赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい募金運動に協力し、多くの方々からご協力をいただきました。

平成28年度に実施した主な事業実績は、次のとおりです。

【理事会・評議員会・評議員選任解任委員会】

事 項	開催日	会 場	主な議案
理 事 会	28. 5. 27	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告、決算報告 評議員選任規程の一部改正 経理規程の一部改正 顧問の委嘱 補欠評議員、次期評議員の選任
評議員会	28. 5. 27	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告、決算報告 補欠役員、次期役員を選任 評議員選任規程の一部改正
理 事 会	28. 7. 15	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 会長、副会長の選任 会長職務代理順序 常務理事の指名 顧問の委嘱 評議員の選任
理 事 会	28. 12. 15	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 補欠評議員の選任 定款の一部改正 評議員選任規程の一部改正 評議員選任解任委員会運営規則の制定並びに同委員の選任 次期評議員候補者の推薦 諸規程の一部改正
評議員会	28. 12. 15	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 補欠役員を選任 定款の一部改正 評議員選任規程の一部改正 評議員選任解任委員会運営規則の制定並びに同委員の選任
評議員選任解任委員会	29. 3. 9	区役所	<ul style="list-style-type: none"> 次期評議員の選任
理 事 会	29. 3. 24	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度補正予算 諸規程の一部改正 児童館の管理業務に関する協定書の締結 高齢者はつらつ長寿推進事業委託契約の締結 平成29年度事業計画、予算
評議員会	29. 3. 24	中村区在宅サービスセンター研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度補正予算 諸規程の一部改正 平成29年度事業計画、予算

【第3次地域福祉活動計画関連会議等】

事 項	開催回数	内 容
推進フォローアップ会議	4回開催	○活動計画全体の進捗状況報告、確認 ○グループ毎の話し合い ○今後の進め方 等
グループ会議	7回開催	○グループ毎の実施項目に応じた作戦会議 ○ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）の勉強会 ○地域のまつりの調査・見学

事 項	開催日	内 容
オレンジカレッジ	28.6.17	同朋大学社会福祉学部1年生を対象に実施 ○認知症サポーター養成講座 （講師：いきいき支援センター） ○中村区社会福祉協議会について （会場）同朋大学成徳館 502 （参加者）約130名
オレンジカレッジⅡ～事前学習～	28.10.11	オレンジカレッジⅡ～学外研修に向けた講座～ ① 高齢者サロン&認知症カフェについて ② 赤い羽根共同募金について ③ 災害ボランティアについて ④ 仕事暮らし自立サポートセンターについて （会場）同朋大学 （参加者）約75名
オレンジカレッジⅡ～学外研修～	28.10.13	ゼミ毎に分かれてそれぞれの事業を体験する学外研修を実施 （参加者）約100名 ①地域の高齢者サロン&認知症カフェの見学訪問 （場所）稲西ケアセンター ②赤い羽根共同募金街頭募金活動 （場所）名古屋駅前 ③災害ボランティアの活動を知る ～避難所運営ゲーム HUG 体験～ （場所）同朋大学成徳館 405 ④くらサポサロン運営体験 （場所）仕事暮らし自立サポートセンター名駅

事 項	開催回数	内 容
福祉学習 サポーター部会	1 2 回開催	○学校や地域における福祉体験の内容の検討、 準備、情報共有、ふりかえり ○「なかむらふくしセミナー」内容検討等
はつらつ サポーター部会	4 回開催	○地域活動プログラム検討、準備、情報共有、 意見交換、認知症の理解等
サロン部会	6 回開催	○ 実施プログラム情報共有・体験 ○ サロン運営における困り事の相談 ○ 新規開設に向けての支援や意見交換 ○ 区民まつりでのサロンブース出展検討

【主な事業】

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進協議会への支援

事 項	実施日	内 容
活動援助	—	○学区推進協事業への活動支援訪問 ○披露ボランティア等の調整 ○情報提供等
研修会・事務説明会の開催	29. 2. 28	○地域福祉推進協議会とは ○助成金報告及び申請手続きについて ○ボランティア活動保険について ○ふれあい給食会等における食品衛生について
ふれあいネットワーク活動の推進	—	高齢者や障害者など、見守りが必要な方や世帯を、隣近所の方などの協力を得て、見守りや声かけの活動を実施 5 学区で実施（稲西、則武、柳、日吉、八社）
ふれあいネットワーク協力員等研修会	28. 5. 17 28. 11. 15 29. 2. 14	稲西民生委員児童委員・協力員約 2 0 名参加 ○見守り対象者の情報共有
ふれあい給食サービス事業の活動援助	—	在宅のひとり暮らし高齢者などを対象に、食事を介し孤独感の緩和と安否確認を図る 1 7 学区で実施

(2) 高齢者等サロン整備等

事 項	実施日	内 容
地域の各種サロンへの支援・助成	—	地域で開催される高齢者、子育てサロン等への運営支援 ○相談件数 高齢者・共生サロン 541件 子育てサロン 76件 ○助成件数 高齢者・共生サロン 34件 子育てサロン 14件 ○最終設置数 高齢者・共生サロン 70カ所 子育てサロン 30カ所
中村区生活支援連絡会 (生活支援・介護予防部会) の開催	28. 6. 23 28. 9. 29 28. 12. 22 29. 3. 23	生活支援・介護予防サービスの基盤整備とネットワークの構築を目的に設置 ○生活支援・介護予防に関する課題把握と取り組みの検討
サロン担い手養成講座	29. 2. 20	社会福祉施設職員を対象に、ふれあい・いきいきサロン活動を通じた社会貢献活動について考える講座を開催 ○高齢者サロン・認知症カフェとは ○事例報告 ○グループワーク 参加者10名
おでかけ健康マップ 改編・作成	—	高齢者が参加できるサロン等区内情報の集約、再編成し、区内に配布 7,000部配布
懐メロ合唱サロンモデル 事業	—	懐メロをキーワードとしたサロンの立ち上げを、チラシ作成やうたごえボランティアの派遣調整を通じて支援 申込団体 2団体
共生型ふれあいサロン 「なも・なも」の開催	毎月 第2火曜日 (計12回)	誰でも参加できる自由な雰囲気のあるふれあいの場の提供 会場 在宅サービスセンター研修室 延参加者343名
子育てサロン「すくすく ひろば」の開催	毎月 第2水曜日 (計12回)	子育て中の親同士の情報交換や悩みの相談ができる場の提供 会場 在宅サービスセンター研修室 延参加者229組

(3) 地域支えあい事業

事 項	実施日	内 容
地域支えあい事業の実施	通年	<p>ボランティアグループ（「豊臣学区おたがいさま」、「日吉学区見守り隊」、「サポートしえん隊八社」、「則武学区生活支援事業」）による個別の困りごとへの対応（地域支えあい活動）や、地域の見守り活動の展開</p> <p>【4学区合計】</p> <p>地域支えあい活動連絡会議等開催 39回 ボランティアポイント認定事業数 16事業 ボランティアカード配布数 511枚 ボランティアポイント付与数 15,744P</p>

(4) 高齢者長寿はつらつ推進事業

事 項	実施日	内 容
高齢者はつらつ長寿推進事業の実施 (いきいきクラブ)	通年	<p>区内小学校・コミセン等において週1回実施</p> <p>実施回数 386回 延利用者数 7,743名</p>
高齢者はつらつ長寿推進事業特別編の実施	28.8.3 28.8.10 29.2.8 29.2.22	<p>参加申込時の抽選で落選された方を対象に、中村保健所の協力を得て、健康状態の把握や仲間づくりの促進を目的に実施</p> <p>延参加者 163名</p>
中村はつらつボランティア(NHB)による地域活動の支援	—	<p>○中村区民まつり「はつらつブース」 ○中村区デイサービスセンターでの手芸指導 ○赤い羽根共同募金街頭募金 ○あみものカフェ ○児童館での世代間交流</p> <p>活動者数 延98名</p>
男性を対象にした運動サロン(はつらつ道場)の開設支援	—	<p>男性の閉じこもり防止を目的に、参加者を男性に限定した運動サロン開設の支援</p> <p>開催回数 8回 参加者数 延204名</p>
はつらつまつりの開催	29.2.25	<p>参加者の自主活動促進と事業のPRを目的に、参加者の作品展示や小物づくりを体験できるイベントを開催</p> <p>会場 在宅サービスセンター研修室ほか 来場者 約170名</p>

(5) なかむらふくしツアー

事 項	実施日	内 容
「なかむらふくしツアー」の開催	夏休み期間 及び 冬休み期間	○Aコース 本会の事業体験及び参加者・ボランティアとの交流 ～マカロンストラップづくり、ポッチャ大会、お菓子の家づくりなど 全8コース～ 延参加者 児童 76名 保護者 41名 (協力) ボランティアグループ3団体 ○Bコース 区内の協力施設の見学や、行事への参加・交流、自主製品の購入を通じて障がいを理解する (協力) 社会福祉施設 13施設

(6) キラ☆キラおやじ養成講座

事 項	実施日	内 容
キラ☆キラおやじ養成講座Ⅴ	28.10.4 28.11.2 28.12.1 29.1.26 29.2.17	男性の閉じこもりを解消し、仲間づくりや男性の知識や技能を生かした地域活動への参加促進、自主グループ化の支援 ①おやじのDIY講座 ②おやじのお手軽料理講座 ③おやじのスイーツづくり講座 ④おやじの健口講座 ⑤おやじの音楽講座 延参加者 64名 (実人数 25名)
キラ☆おや同窓会	28.9.12	「キラ☆キラおやじ養成講座」の企画会議&交流会 参加者 7名
	29.2.16	「キラ☆キラおやじ養成講座」の企画会議 参加者 4名
	29.3.16	交流会・親睦会 参加者 13名

(7) 中村区在宅サービスセンターの管理運営

事 項	内 容
部屋の貸出	○研修室 219件 ○調理実習室 151件
ボランティアルームの利用状況	登録ボランティア団体等の会議、パソコンの利用 ○ボランティアルーム 272件 ○録音室 5件

(8) 広報・啓発

事 項	内 容	
広報紙の発行	28.10 29.3	○なかむら福祉だより (vol. 83、84) 各8,000部発
	28.8	○セブンティ Neo (vol. 1) 300部発行
情報誌の発行	28.11	平成28年度版「中村の福祉」の発行 400部発行
ホームページ、ブログ しゃきょうTVの公開	—	福祉情報の発信、本会の広報・啓発手段の一つとして地域福祉事業やボランティア活動の様子を公開
PRグッズの作成	—	活動計画委員とともに、本会ロゴの缶バッジを作成。賛助会員等希望者へ配布

(9) 賛助会員の実績及び地域福祉基金の運営

事 項	内 容	
賛助会員の状況	136件	1,178,500円
地域福祉基金の運営	積立額累計	119,758,738円

2 ボランティア活動への支援

事 項	実施日	内 容
ボランティア相談	—	ニーズ相談 471件 ボランティア登録者 個人 110名 団体 128団体
院内ご案内ボランティア フォローアップ講座	29.1.26	JR東海名古屋セントラル病院等の協力のもと、病院内の付き添いボランティアのフォローアップ講座を実施 参加者 6名
ふれあい給食サービス事業 研修会の開催	29.2.28	○給食サービス事業に関する食品衛生研修 ○情報交換 参加者 41名
学校及び地域等における 福祉体験教室等の実施	—	車いす、高齢者、手話、アイマスクの体験教室及び認知症予防のための回想法等についての講話 学校18件 その他21件 計39件

事 項	実施日	内 容
なかむら福祉セミナーの開催	28. 8. 20	ふくしツアーの一環として中村区子ども会育成連絡協議会、中村鯉城会ほか各種団体と協働で年齢に関係なく楽しめるユニバーサルスポーツ「ボッチャ大会」を実施 参加者 約63名
ボランティア連絡協議会の支援	—	○定例会への参加 ○広報紙の発行 ○区民まつりの参加
	29. 2. 18	○ボランティア講座の開催 ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を学ぶ 参加者 25名
なごや中村災害ボランティアネットワークとの連携	—	○定例会への参加 ○オレンジカレッジでのHUGの実施 ○災害ボランティアセンター立上訓練 ○総合防災訓練への参加
地域福祉活動応援助成事業の実施	28. 7. 7	地域活動の応援と共同募金の啓発を目的に、公開プレゼンテーションによる助成事業を実施 申請団体数 15団体 助成金総額 653,900円

3 各種福祉事業

(1) 高齢者・障がい者・児童福祉事業

事 項	実施日	内 容
学区敬老行事への援助	—	全18学区へ援助
ジュニアリーダークラブ研修会の開催助成	—	年間を通じて研修を実施し子ども会活動の推進を図る活動に対し助成
ドッジボール大会の開催助成	29. 3. 5	子ども会ドッジボール大会への助成 会場 中村スポーツセンター
子育て広場事業への援助	28. 9. 7	子育て広場への助成 会場 中村区役所 講堂
学童保育合同運動会の開催助成	28. 10. 2	区内学童保育の合同運動会への助成 会場 稲葉地小学校
学童保育説明会の開催助成	28. 11. 13 29. 1. 22	小学校入学を控えた家庭に対する区内学童保育所の紹介、説明会への助成 会場 三菱重工岩塚工場労働会館 中村区役所 講堂

関係団体事業助成	—	中村区老人クラブ連合会、中村区地域女性団体連絡協議会、中村区身体障害者福祉協会、中村区聴覚障害者協会、中村区手をつなぐ育成会、中村区自立支援協議会、中村区教育振興会、中村区保護司会、中村区更生保護女性会、民生委員児童委員協議会中村区支部への援助
----------	---	--

(2) 低所得者福祉事業

事 項	実施日	内 容
生活福祉資金・総合支援資金の貸付	—	会社都合による解雇に伴う緊急小口資金その他の理由による相談 生活福祉資金 相談 129件 貸付 2件 総合支援資金 相談 30件 貸付 0件 教育支援資金 相談 16件 貸付 1件 不動産担保型 相談 33件 貸付 0件 つなぎ資金 相談 5件 貸付 0件
法外援護事業の実施	—	区役所保護係と連携し、住居のない方等への移動費や食糧などの援護対策を実施
食糧支援事業の実施	—	生活福祉資金貸付に至らなかった生活困窮の方のつなぎ支援として実施 22件

(3) その他の福祉事業

事 項	実施日	内 容
社会福祉活動実践校への活動援助	—	区内の小・中学校の地域福祉活動を支援 助成金交付 6校
寝具クリーニングサービス事業の実施	28.3	区内在住で70歳以上の高齢者ひとり暮らし世帯と夫婦世帯、障がい者世帯に対し、寝具クリーニングを実施 利用者数 301名
車いす対応車両貸出サービス事業の実施	—	中村法人会より寄贈を受けた車いす対応車両「かがやき号」を無料（但し、ガソリン代実費必要）で貸出 延 36件
車いす貸出サービス事業の実施	—	車いすを必要とする区民の方に無料で貸出 延 196件

4 介護保険事業等の取り組み

(1) 通所介護事業の実施（中村区デイサービスセンターの経営）

事 項	内 容
指定通所介護・指定介護予防通所介護事業の実施	実施日数308日、延利用者数9,322名 1日平均利用者数30.3名

(2) 中村区介護保険事業所への運営協力

事 項	内 容
ホームヘルパー「なごやかスタッフ」の派遣	延派遣先利用者数 3,110名 総派遣時間 36,142時間 なごやかスタッフ(29.3.31現在) 81名
介護保険居宅サービス計画・介護予防サービス計画の作成	介護支援専門員(ケアマネジャー)による居宅サービス計画・介護予防サービス計画の作成総件数 3,603件
要介護認定訪問調査の受託実施	市からの委託を受けて介護支援専門員(ケアマネジャー)が要介護認定調査を実施 220件

(3) 中村区北部いきいき支援センターへの運営協力

事 項	内 容
会議の開催	○中村区地域包括ケア推進会議 2回開催 ○同認知症専門部会 4回開催
相談件数	○総合相談支援・権利擁護事業 延4,397件 ○包括的・継続的ケアマネジメント事業 延8,294件
介護予防サービス計画の作成	○直営分 延2,192件 ○委託分 延8,785件
認知症高齢者を介護する家族支援事業の実施	○認知症家族教室 10回開催 延34名参加 ○家族サロン 12回開催 延124名参加 ○医師による専門相談 12回開催 延17名参加 ○認知症サポーター養成講座 25回開催 延610名参加

